

平成28年度事業計画書

公益財団法人武蔵野市国際交流協会

1. 事業方針

当協会は、平成 22 年 4 月 1 日に、全国の国際交流協会に先駆けるかたちで東京都より公益認定を受け公益財団法人武蔵野市国際交流協会として新たな飛躍へのスタートを切りました。平成元年 10 月に任意団体として設立されて以来、今年で創立して 28 年目を迎えました。武蔵野市、関係諸団体そして協会ボランティアの皆様のご支援、ご協力の賜物と心より感謝する次第であります。これからも多様な文化・特性の人々が互いを尊重し共に暮らす社会の実現に向けて、市民主体の活動を続けていきます。

当協会は、平成 28 年度につきましても、公益財団法人として社会的信用性を高める努力を行っていくため、組織体制を整え、時代の変化や市民ニーズを的確に把握し、反映させた公益事業を展開しながら、国際平和に寄与する開かれたまちづくりを目指す努力をしていきます。

平成 28 年度は以下のとおり特徴的な事業について予算を増額するなどの措置を講じました。

(1) 通訳者の派遣及び翻訳事業について

- ・ 2020 年（平成 32 年）に開催される東京オリンピック・パラリンピックへの来日外国人旅行者などへの対応を見据えると共に地域の在住外国人の増加・定住化・多様化に対応するため、武蔵野市と連携協力を深め、地域における多言語情報提供及び対応を強化するため、行政関係の通訳・翻訳を引き受け、MIA に登録する語学ボランティアが、外国人と依頼先担当者などとの通訳や、依頼先の発信情報の翻訳を行う。また、想定される依頼先に研修を依頼し、語学ボランティアに対し、制度の基本的な枠組みや、専門用語の解説などの研修を行い対応能力の向上を図る。

(2) MIA ホームページによる発信事業について

- ・ MIA が進める市民主体の国際交流、在住外国人支援は、多様な地域住民の参加・参画によって成り立っており、広報活動が欠かせないものとなっている。ホームページを通じた情報入手が日常化している昨今、より見やすく活用しやすいホームページが求められている。また、在住外国人の情報ニーズに対するホームページの多言語化、ボランティア情報・イベント参加情報の効果的な PR、特定のページの情報更新については複数の人員で対応できるようにすることなどが当協会の課題であったため、新規にホームページを制作し、情報発信を充実させ、効果的な広報を確立する。

具体的には外国人支援、地域活性化を目指し下記のとおり各種事業の充実を図り進めていきます。

また、協会の組織・財政・職員の人材育成について以下のとおり取組みます。

(1) 協会運営の効率化と自主財源の確保について

当協会は主として武蔵野市からの協会運営補助金により運営されておりますが、補助金の額については年々厳しさを増してきているのが現状であります。従って、協会運営に際しては一層の経費節減に努力し、効率的、効果的な事業運営を図っていきます。ま

た、協会運営の強化を図るため、事業を実施するにあたり協会運営を支える新たな財源確保としての当協会HPに掲載する有料広告（バナー契約）を募集することや多くの個人・団体会員の獲得を目指すとともに引き続き自主財源確保に努めていきます。

なお、会費及び事業参加費の改正につきましては、当協会は会員の負担を最小限にするために、平成元年（1989年）10月の設立以来、会費及び事業参加費は据え置き当協会の運営に関わる管理経費支出の削減に努めてまいりました。しかしながら近年の景気後退や消費税率改正などにより当協会運営に影響が及ぶことが想定されましたことから、会費及び事業参加費の見直しを行い、公益財団法人武蔵野市国際交流協会理事会並びに同評議員会におきまして、慎重な審議をいただきまして、会費及び事業参加費の改正を平成28年4月1日からの実施を決定致しました。皆様には、ご負担をおかけしますが、市民の参画、市民との協働を基本とした「国際平和に寄与する開かれたまちづくり」を目指し、外国人市民と共に生きる文化豊かなまちづくりを今後も推進するため、何卒ご理解の上、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

（2）職員研修について

事業を運営していくにあたり担当職員の役割は重要であり、よりよい事業運営を行うため職員としての力を養う必要があります。計画的な研修を実施するため「職員研修要綱」に基づき、職員研修、他機関への視察、他機関職員との情報交換などを積極的に行うと共に専門知識や経験を十分に有する有識者を講師として招聘し、常に職員の意識、能力を充実させることに努力し、さらに一層の職員の意識の向上を図っていきます。

2. 事業計画

〔在住外国人の生活・コミュニケーション支援に関する事業〕

事業名	概要	備考
[1]日本語学習の支援 1. 日本語コース	<p>期間：Ⅰ期（5月～7月）Ⅱ期（10月～12月）Ⅲ期（1月～3月）、各期とも週3日の水曜日（午後）・金曜日（午前）・土曜日（午前）に各期10回開催</p> <p>内容：外国人が地域で暮らすために必要な日本語学習を日本語ボランティア（日本語交流員）が支援する。教室活動は習熟度及び目的別にいくつかのグループに分けて交流活動を行う。教室活動は原則全10回を1コースに開催。コース参加者は、マンツーマン活動にも参加できる。</p>	

事業名	概要	備考
2. 日本語サロン	<p>対象：日本語学習を希望する外国人市民 定員：各コース 20 名程度（最少催行人数 5 名） 参加費：600 円/回数 期間：随時開催 内容：中級レベル以上の外国人向けに、テーマを設定した活動として 4～5 回を 1 コースに日本語交流員の自主企画事業として実施。</p>	
3. 日本語スピーチ大会	<p>対象：日本語習熟度が中級レベル以上の外国人市民 定員：10 名程度 参加費：250 円/回数 期間：年 1 回 3 月開催予定 内容：外国人市民の意見発表の場としてまた市民の異文化理解の場として日本語交流員の自主企画事業で開催。</p>	
4. 日本語交流員ステップアップ研修・養成講座	<p>対象：登壇者：外国人市民 定員：10 名程度 参加費：無料 期間：日本語交流員ステップアップ研修・養成講座を隔年実施。 内容：日本語交流員として日本語コースの運営に関わるうえで必要な知識を学ぶため日本語交流員養成講座と既活動交流員のステップアップ研修を隔年実施。 対象：日本語交流員 定員：50 名 養成講座参加費：10 回 1 コース：6000 円 ステップアップ研修参加費：無料</p>	平成 28 年度は「日本語交流員養成講座」実施年
5. 外国人の親子支援検討委員会	<p>期間：年 1 回開催予定 内容：日本で子育てをする外国人の親及び日本のシステムの中で育つ日本語を母語としない子どもを支援。毎年、外国</p>	

事業名	概要	備考
	<p>人のための高校進学ガイダンス及び外国人児童・生徒学芸会&親子交流会を開催。</p> <p>対象：日本語を母語としない親子 定員：ガイダンス：100名、学芸会：15名、交流会：50名 参加費：ガイダンス：1家庭300円(資料代)、学芸会&交流会：無料</p>	
<p>[2]多言語による各種相談</p> <p>6. 外国人のための無料専門家相談会</p> <p>7. 予約制専門家相談</p> <p>8. 語学ボランティア研修</p>	<p>期間：年1回開催予定 内容：語学ボランティアと弁護士などの専門家が全員待機し予約不要の法律、労働、心理、年金などの相談会を実施。都内全域で開催されている「都内リレー専門家相談会」の一環としてかつ専門家と語学ボランティアが一堂に会する形式として開催。</p> <p>対象：外国人相談者 定員：無 参加費：無料</p> <p>期間：原則、毎月第4土曜日開催予定 内容：予め電話予約を受けて、相談内容に応じて専門家と語学ボランティアをアレンジし、MIAの事務所で相談に応じる。</p> <p>対象：外国人相談者 定員：各回4名程度 参加費：無料</p> <p>期間：随時 内容：相談案件の複雑化に対応するため、基礎講座、ステップアップ講座などの語学ボランティアの研修(オリエンテーションを含む)を実施。</p> <p>対象：語学ボランティア 定員：25名程度 参加費：無料</p>	

事業名	概要	備考
<p>[3] 留学生の社会参加の促進</p> <p>9. 「留学生」むさしのファミリープログラム</p> <p>10. 留学生の社会参加に関する講座研修など</p>	<p>期間：原則、年2回（4月、10月）募集予定、1年間</p> <p>内容：近隣の大学と連携し、留学生と地域の家庭がホームビジットを基本に1年間交流するプログラムを実施。参加者向けには、交流会、講座、懇談会などを適宜無料で実施。</p> <p>対象：近隣大学の留学生、地域の家庭</p> <p>定員：各回50組程度</p> <p>参加費：無料</p> <p>期間：年2回程度</p> <p>内容：参加者向けに講座、懇談会などを適宜実施。</p> <p>対象：「留学生」むさしのファミリープログラム参加者</p> <p>定員：30名</p> <p>参加費：無料</p>	
<p>[4] 多言語による生活情報の提供</p> <p>11. 多言語相談・情報提供窓口</p> <p>12. MIA Calendar（多言語情報紙）</p> <p>13. むさしのFMラジオ番組</p>	<p>期間：通年</p> <p>内容：外国人が必要とする医療機関案内、防災知識、市内の催し物などの生活情報を、コミュニティラジオ（番組）、情報紙、協会ホームページなどの媒体により多言語で提供。語学ボランティアが多言語で相談の受付や情報提供を行う。</p> <p>内容：外国人向け情報紙。日本語、英語、中国語、スペイン語の多言語で作成。外国人会員、関係団体、市各施設の窓口に配布 年4回発行、2,600部</p> <p>期間：月～金と月1回土曜日</p> <p>内容：「News from MIA」月～金の5分番組、及び「MIA プラザ」月1回土曜日に30</p>	

事業名	概要	備考
14. 外国人のための防災事業	分トーク番組放送 対象：外国人市民 期間：随時 内容：外国人のための防災委員会を中心に防災に関する外国人への啓発活動を実施。災害時に対応できるように防災研修を実施。また、災害時における外国人支援について武蔵野市と締結した「災害時における外国人支援活動に関する協定書」に基づき市の総合防災訓練及び防災ボランティア訓練などの訓練に参加し、連携・協力を促進。 対象：情報弱者の外国人市民	
[5] 通訳者の派遣及び翻訳 15. 通訳者の派遣 16. 翻訳	期間：随時 内容：医療・教育・行政窓口・法律相談に関する通訳派遣及び翻訳依頼に対し語学ボランティアに個別依頼しボランティアができる範囲での通訳及び翻訳活動を実施。 通訳費用：2時間以内 8,000円 翻訳費用：A5判用紙1枚以内 5,000円	通訳者の派遣及び翻訳事業の充実並びに語学ボランティアの養成・研修強化のため、予算増額

【多文化共生の地域づくりに関する事業】

事業名	概要	備考
[6] 地域における国際理解の推進 17. 市民国際交流・協力・多文化共生推進事業	期間：年2～3回開催 内容：国際理解、国際平和について市民に理解を深めてもらえるような市民講座を開催。	

事業名	概要	備考
18. 教員ワークショップ	<p>対象：在住、在勤、在学の市民 定員：20名程度 参加費：無料</p> <p>期間：通年及び7月の2日間 内容：小・中・高校の教員を対象に地域のNGOや外国人と協働し、国際理解をテーマにした授業づくりを実践する。通年のワークショップに加え、年1回の夏期教員ワークショップを実施。</p> <p>対象：小・中・高校の教員 定員：教員ワークショップ（10名程度） 夏期教員ワークショップ（100名） 参加費：無料。但し、夏期教員ワークショップは4,000円（2日間）</p>	
19. 青年ワークショップ	<p>期間：通年 内容：大学生、若手社会人などを対象に環境、多文化共生、国際交流・協力、教育、地域づくりなどをテーマとしたワークショップ形式の講座を開催。年1回、より広く若者に呼びかけて「青年のための国際理解フォーラム」を開催。</p> <p>対象：大学生及び若手の社会人 定員：20名程度 参加費：無料</p>	
20. むさしの国際交流まつり	<p>期間：年1回、11月の第2日曜日開催 内容：MIAの活動を広く一般市民に周知し、より多くの市民に活動に参加してもらえるよう家族ぐるみで楽しめる交流の場として年1回開催。会員、外国人会員、当日ボランティアなどにより運営されNGO、地域商店街、政府系機関、大学などの協力を得て多文化共生のまちづくりに寄与する。</p> <p>定員：無 参加費：無料</p>	

事業名	概要	備考
<p>[7] 国際交流及び国際協力に関するボランティア活動の支援</p> <p>21. ボランティア活動説明会</p> <p>22. ボランティア向け各種研修、講座</p> <p>23. ボランティア自主事業推進委員会</p> <p>24. 情報提供グループ</p> <p>25. イベントグループ</p>	<p>期間：年1回開催</p> <p>内容：会員、一般市民を対象にMIAのボランティア活動への参加を呼びかけるため各種説明会を実施。</p> <p>対象：会員ボランティア、在住、在勤、在学の市民</p> <p>定員：50名程度</p> <p>参加費：無料</p> <p>期間：随時</p> <p>内容：ボランティアの活動の支援として様々な研修、講座を開催</p> <p>対象：会員ボランティア</p> <p>定員：30名程度</p> <p>参加費：1,000円程度</p> <p>期間：年4回開催</p> <p>内容：会員の自主的な活動を推進するため各自主事業グループ代表、会員の推薦する委員などによって構成される委員会で会員から申請される新規事業の検討・承認・推進やボランティア間の情報交換。</p> <p>対象：会員ボランティア</p> <p>定員：16名</p> <p>内容：「情報提供グループ」は、活動メンバーが減ったことや情報収集の多様化などによる情報コーナーの利用回数が漸減したためより有効な活動について検討することにして平成23年度で活動を一度終了した。</p> <p>内容：外国人会員企画事業であるシリーズ「世界を知ろう！世界の人とふれあおう！」の準備、実施のためのサポートを中心に活動。</p>	

事業名	概要	備考
26. FMラジオ番組運営委員会(多言語ラジオ番組)	<p>対象：会員ボランティア</p> <p>内容：むさしのFMラジオ番組(多言語)における「News from MIA」の原稿作成、翻訳、収録及び「MIA プラザ」の出演など運営を担当。</p>	
27. 情報紙編集委員会	<p>対象：会員ボランティア</p> <p>内容：MIAのボランティア活動の状況を編集委員会が取材・編集・印刷し「MIA Volunteer News」を発行。(年4回、1,100部発行)</p>	
28. 外国人ボランティア支援グループ	<p>対象：会員ボランティア</p> <p>内容：MIA登録外国人がボランティアとして自国の文化を紹介する際(外国人会員自主企画事業など)の実務面のサポート。</p>	
29. こども国際交流クラブ	<p>対象：会員ボランティア</p> <p>期間：随時、年10回開催予定</p> <p>内容：3歳からのこどもと親対象の国際理解プログラム。</p>	
30. 地域への外国人など派遣	<p>対象：在住、在勤、在学の市民</p> <p>定員：18名程度</p> <p>参加費：お料理コース：1組2,000円</p> <p>期間：随時</p> <p>内容：地域の小中学校などへ外国人を派遣。直接児童・生徒などと交流し、外国の衣食住・多様な言語・芸術文化などを紹介。</p>	
31. シリーズ「世界を知ろう！世界の人とふれあおう！」	<p>対象：地域の小・中学校、コミュニティセンターなど</p> <p>定員：無</p> <p>参加費：無料</p> <p>期間：年3～4回開催</p> <p>内容：イベントグループのサポートで外国人会員が出身の国や文化を紹介。</p> <p>対象：在住、在勤、在学の市民</p> <p>定員：25名</p>	

事業名	概要	備考
<p>32. 外国語会話交流教室</p> <p>33. 外国人会員企画事業</p>	<p>参加費：無料</p> <p>期間：年5回開催（土曜クラス3回、平日クラス2回）</p> <p>内容：外国人会員が8回を1コースとして自国の言語や文化を紹介しながら市民と交流。</p> <p>対象：在住、在勤、在学の市民</p> <p>定員：20名（最少催行人数10名）</p> <p>参加費：6,000円</p> <p>期間：年3～4回開催</p> <p>内容：外国人会員の自主企画として料理、音楽などの文化・特技を幅広く紹介。</p> <p>対象：在住、在勤、在学の市民</p> <p>定員：20名（最少催行人数10名）</p> <p>参加費：2,000円</p>	
<p>[8] 国際交流及び国際協力に関する地域団体との連携</p> <p>34. 地域連携・共催</p> <p>35. 他団体との協働・助成・後援</p>	<p>内容：多文化共生社会実現のため地域連携を推進。市内のコミュニティセンターなどとの共催（料理教室他）や武蔵境ピクニック、境まつり、スイングロードフェスティバル、武蔵境イルミネーション点灯式などの地域イベントへ出店。また、地域の大学、ロータリークラブなどの地域団体に外国人会員、協会ボランティア、協会職員などを派遣。</p> <p>内容：市内各団体、企業、学校、NPO、他国際交流協会、都内相談ネットワークなどと連携協働。事業単位では、助成・後援を随時行う。また、協会の会議室、印刷機、団体紹介BOXなどの便宜供与。</p>	

〔国際交流及び国際協力の調査研究及び広報に関する事業〕

事業名	概要	備考
<p>[9] 国際交流及び協力に関する調査研究</p> <p>36. 国際交流・協力に関する調査研究</p> <p>37. 機関紙「むさしのFR I E N D S」の発行</p> <p>38. MIA ホームページによる発信</p>	<p>内容：国際交流・協力に関する調査研究をアンケート、資料収集、専門家からの意見聴取などにより適宜実施</p> <p>内容：協会の活動方針、在住外国人が抱える問題などをテーマにした特集記事、活動報告、及び各種イベントの案内などを掲載する機関紙を年4回、各回1,600部発行。機関紙は会員の他、地域公共施設などに無料で配布。</p> <p>内容：協会ホームページは在住外国人向けに事業紹介やイベント参加者募集などの協会活動の最新情報の発信及び参加申込受付など。</p>	<p>協会HPのリニューアルなどによる広報の充実・強化のため、 予算増額</p>